



しじゅうから

福島市小鳥の森通信2018年4月号 No.388

小鳥の森で観察してみよう 77

キクザキイチゲ

キンポウゲ科

生態

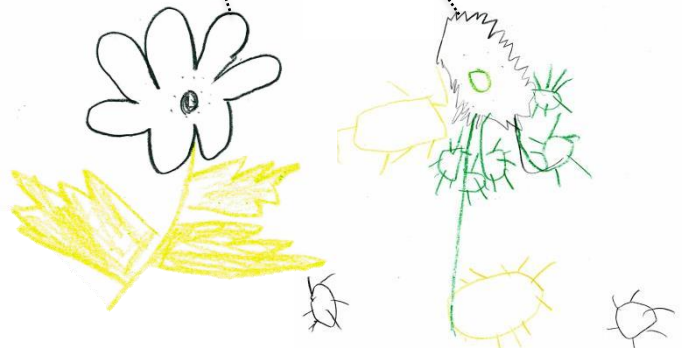
- ・ 秋に葉を落とす林（落葉広葉樹）の地面で育つ
- ・ 森の中がまだ明るい早春に花を咲かせ、樹木が若葉を繁らせる頃には地上部を枯らしてしまう（＝スプリング・エフェメラル）

小鳥の森での観察

- ・ シジウカラの小径・杉の沢付近で観察できる

菊に似た白や紫の花を、茎の先にひとつだけ咲かせる

高さ：10～30cm



さいとう ゆりな せい どうゆうとく

今回の絵は、さいとうゆりなさんとさいとうゆうとくくんが描いてくれました。

4月の自然予報

4月になると、いよいよ夏鳥たちが渡ってくるようになります。また、もっと北で繁殖する夏鳥も移動途中で、小鳥の森に数日立ち寄っていきます。

その他にも、まだ移動せずにいる冬鳥も見られるので、小鳥の森では、4月が一番野鳥の種類が多く観察できる時期です。

暖かくなり、散策にも適します。

小鳥の森へ、バードウォッチングにいらしてみたいかがでしようか。

2017年4月に確認された野鳥

4月4日	イワツバメ
4月9日	ツバメ
4月14日	ヤブサメ
4月15日	センダイムシクイ
4月15日	アマツバメ
4月16日	サンショウクイ
4月19日	キビタキ
4月19日	コサメビタキ
4月19日	ビンズイ
4月21日	クロツグミ
4月22日	クロジ
4月22日	アカハラ
4月22日	オオルリ
4月22日	イカル
4月23日	サシバ
4月28日	エゾムシクイ



キビタキ



アカハラ

3月の自然

葉や蕾を出したカタクリや、越冬していたルリタテハなどのチョウが飛び姿を、明るい日が射し込む森の中で見る事ができました。また、シュンランも11日にシジウカラの小径で開花を確認しました。

さて、このシュンランにはある特徴があります。それは受粉をしてくれるハチへのお返しである「蜜」を作らないことです。それでもハチは花にもぐり込み、花粉のかたまりを背中に付けて運びます。蜜を貯めておく「距(きょ)」と言う部分が無いので、他のランと比べると、すっきりとした形をしています。可憐にうつむいて咲くシュンランですが、実はちょっとずるいその姿を、不思議に思う早春の小鳥の森でした。



開花したシュンラン

小鳥の森スタッフだより

福島市小鳥の森では、4月になると一気に様々な野草が芽を出し、森の中が色づき始めます。この時期は、春の訪れを野草を通して感じることができます。

チゴユリやニリンソウの白色、センボンヤリやヤマブキの黄色、ショウジョウバカマやイカリソウの紫色など様々な色の野草や樹木の花が来園者の目を楽しませてくれることでしょう。

暖くなるこの時期、ぜひ足元に咲いている花々を探しながら散策してみましょう。

(レンジャー 五十嵐 悟)

2017年4月に確認された野草



イカリソウ

4月4日	センボンヤリ
4月4日	ナガハシスミレ
4月4日	マキノスミレ
4月6日	ショウジョウバカマ
4月8日	カキドオシ
4月16日	ノジスミレ
4月22日	イカリソウ
4月22日	ニリンソウ
4月25日	チゴユリ
4月28日	フデリンドウ

小鳥の森出前講座のご案内

小鳥の森では、福島市内の学校や学習センターなど様々な団体向けに出前講座を実施しています。

自然素材を用いた工作や、森のお話など色々な講座メニューを用意しております。季節や人数、活動時間に合わせてプログラムを組み合わせたり、調整したりすることもできます。

受付は先着順に行っていますので、希望日の2週間前までに電話かFAXでお申し込みください。(※既に希望の日程に予約が入っている場合は対応できない事もありますので、ご了承下さい。)



※福島市小鳥の森では色々なイベントを開催しています。詳しくはネイチャーセンターまでお気軽にお問い合わせ下さい。

*小鳥の森ホームページで小鳥の森スタッフが独自に測定した環境放射線量を公開しています。

福島市小鳥の森(ネイチャーセンター) 開館時間: 午前8時30分~午後5時

《入場無料》休館日: 毎週月曜日(祝祭日の時はその翌日)

〒960-8202 福島市山口字宮脇98 Tel: 024-531-8411 fax: 024-534-8800

小鳥の森のホームページ・・・<http://www.f-kotorinomori.org/>

小鳥の森通信「しじゅうから」2018年4月号No.388/企画・発行: 福島市小鳥の森/日本野鳥の会ふくしま